



平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月3日

上場会社名 三洋貿易株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3176 URL <http://www.sanyo-trading.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 増本 正明
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当取締役 (氏名) 白井 浩 (TEL) 03-3518-1111
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	59,294	17.4	4,270	6.3	4,440	3.2	2,964	7.9
29年9月期第3四半期	50,515	12.1	4,018	32.2	4,302	35.9	2,746	38.8

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 2,862百万円(△21.5%) 29年9月期第3四半期 3,645百万円(172.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	207.09	205.95
29年9月期第3四半期	191.95	190.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	40,567	25,937	63.1
29年9月期	38,987	24,600	61.1

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 25,606百万円 29年9月期 23,806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	28.00	—	31.00	59.00
30年9月期	—	30.00	—		
30年9月期(予想)				32.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(平成30年8月3日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	18.1	5,070	2.7	5,270	△0.0	3,500	4.4	244.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(平成30年8月3日)公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年9月期3Q	14,503,854株	29年9月期	14,503,854株
30年9月期3Q	188,154株	29年9月期	194,646株
30年9月期3Q	14,312,479株	29年9月期3Q	14,308,306株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中で個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復が続いています。海外経済も概ね回復基調にありますが、米国通商政策の保護主義化に伴う貿易摩擦や金融資本市場の変動の影響等により、不透明感が増しております。

このような環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、59,294百万円（前年同四半期比17.4%増）、営業利益は4,270百万円（前年同四半期比6.3%増）、経常利益は4,440百万円（前年同四半期比3.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,964百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①化成品

ゴム関連商品は、主力の自動車・家電・情報機器関連向け合成ゴムや副資材等が引き続き堅調に推移しましたが、仕入値の上昇や一部の輸出品の低迷により、全体としては平調でした。化学品関連商品では、主力の塗料・インク関連やフィルム及び電材輸出に加え、旧ソートビジネス、医薬関連や香料が堅調に推移しました。

この結果、売上高は21,656百万円（前年同四半期比7.5%増）、セグメント利益（営業利益）は1,364百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

②機械資材

産業資材関連商品は、シート用部品等の自動車内装用部品の販売で予想以上の好調が続き、売上・利益ともに好調であった前年同期実績を更に上回りました。機械・環境関連商品は、木質バイオマス大型案件が実現、飼料機械も前期並みを確認し、売上・利益ともに前年同期比で大きく伸長しました。科学機器関連商品は、摩擦摩耗試験機、バイオ関連機器、元素分析装置、耐候性試験機が好調に推移しました。

この結果、売上高は20,019百万円（前年同四半期比23.1%増）、セグメント利益（営業利益）は2,417百万円（前年同四半期比15.7%増）となりました。

③海外現地法人

Sanyo Corporation of Americaは、モーター等の自動車内装用部品や吸水性ポリマー等の化学品の好調が継続し、増加した販売費及び一般管理費を吸収する形となり、全体として堅調でした。三洋物産貿易（上海）有限公司も、ゴム関連や自動車部品関連が伸長し、売上及び利益が前年同期比で大きく増加しました。San-Thap International Co., Ltd.（タイ）は、ゴムや自動車部品関連が好調に推移しました。Sanyo Trading (Viet Nam) Co., Ltd.は、塗料の大口案件等があり化学品関連が堅調でした。

この結果、売上高は14,395百万円（前年同四半期比33.3%増）、セグメント利益（営業利益）は714百万円（前年同四半期比18.2%増）となりました。

④国内子会社

㈱ケムインターは、米国・台湾向けでの半導体関連商材や穿孔機器の販売伸長が継続し、好調でした。コスモス商事(株)は、前年同期に好調であった地熱分野での機械販売・レンタル事業の低迷が続き、低調でした。

この結果、売上高は3,074百万円（前年同四半期比1.4%減）、セグメント利益（営業利益）は337百万円（前年同四半期比16.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、商品及び製品の減少の一方で、現金及び預金の増加や売上増に伴う売上債権の増加などにより、前連結会計年度末比1,815百万円増加し、33,216百万円となりました。

固定資産は、今秋稼働開始予定の次期基幹システム開発に伴ってソフトウェア仮勘定が増加しましたが、固定資産・のれんの償却が進んだことや保有有価証券の評価減などにより、前連結会計年度末比236百万円減少し、7,350百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は40,567百万円（前連結会計年度末比1,579百万円の増加）となりました。

(負債)

流動負債は、法人税の中間納付により未払法人税等が減少した一方で、仕入債務や賞与引当金等の引当金が増加したことなどにより、前連結会計年度末比407百万円増加し、13,282百万円となりました。

固定負債は、投資有価証券の評価差額計上に伴って繰延税金負債が減少したことや賃貸不動産の敷金を返還したことなどにより、前連結会計年度末比164百万円減少し、1,347百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は14,630百万円（前連結会計年度末比242百万円の増加）となりました。

(純資産)

連結子会社株式の追加取得によって非支配株主持分が減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によって利益剰余金が増加しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における純資産は25,937百万円（前連結会計年度末比1,336百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、平成29年11月7日付「平成29年9月期 決算短信」にて公表いたしました通期の業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日（平成30年8月3日）公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,635,558	3,433,637
受取手形及び売掛金	15,902,728	17,317,069
電子記録債権	994,349	710,870
商品及び製品	10,456,067	9,982,248
仕掛品	5,589	10,435
原材料及び貯蔵品	2,935	2,863
その他	1,422,942	1,814,441
貸倒引当金	△18,876	△54,855
流動資産合計	31,401,296	33,216,710
固定資産		
有形固定資産	2,006,668	1,994,758
無形固定資産		
のれん	594,896	472,987
その他	588,932	706,982
無形固定資産合計	1,183,828	1,179,969
投資その他の資産		
投資有価証券	3,537,019	3,340,014
その他	890,809	837,507
貸倒引当金	△31,633	△1,560
投資その他の資産合計	4,396,195	4,175,962
固定資産合計	7,586,693	7,350,690
資産合計	38,987,989	40,567,401

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,175,312	8,671,726
短期借入金	1,555,593	1,486,024
未払法人税等	883,753	605,364
引当金	34,345	343,737
その他	2,226,701	2,175,992
流動負債合計	12,875,706	13,282,845
固定負債		
長期借入金	100,000	100,000
退職給付に係る負債	767,920	771,453
その他	644,234	476,018
固定負債合計	1,512,155	1,347,471
負債合計	14,387,861	14,630,317
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,587	1,006,587
資本剰余金	426,143	405,231
利益剰余金	21,270,764	23,361,713
自己株式	△186,820	△180,770
株主資本合計	22,516,675	24,592,762
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,174,829	958,966
為替換算調整勘定	115,440	54,665
その他の包括利益累計額合計	1,290,270	1,013,631
新株予約権	64,123	72,911
非支配株主持分	729,058	257,778
純資産合計	24,600,127	25,937,083
負債純資産合計	38,987,989	40,567,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	50,515,076	59,294,966
売上原価	41,279,165	49,137,974
売上総利益	9,235,910	10,156,991
販売費及び一般管理費	5,217,171	5,886,698
営業利益	4,018,739	4,270,293
営業外収益		
受取利息	5,128	7,057
受取配当金	57,339	51,782
為替差益	207,535	88,600
その他	55,659	79,930
営業外収益合計	325,663	227,371
営業外費用		
支払利息	11,642	28,922
売上割引	9,234	9,413
その他	20,658	18,668
営業外費用合計	41,535	57,004
経常利益	4,302,866	4,440,659
特別利益		
原状回復負担金等収入	—	130,000
投資有価証券売却益	—	223,776
国庫補助金	2,000	—
特別利益合計	2,000	353,776
特別損失		
関係会社出資金評価損	—	68,942
特別損失合計	—	68,942
税金等調整前四半期純利益	4,304,866	4,725,493
法人税等	1,467,497	1,576,318
四半期純利益	2,837,369	3,149,175
非支配株主に帰属する四半期純利益	90,924	185,168
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,746,444	2,964,006

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	2,837,369	3,149,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	566,788	△215,593
為替換算調整勘定	241,738	△71,267
その他の包括利益合計	808,527	△286,860
四半期包括利益	3,645,896	2,862,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,509,127	2,687,367
非支配株主に係る四半期包括利益	136,768	174,946

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	国内 子会社	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	20,153,395	16,267,666	10,801,605	3,118,041	50,340,708	166,400	50,507,109	7,966	50,515,076
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,047,832	172,030	947,245	13,592	3,180,701	27,419	3,208,121	△3,208,121	—
計	22,201,228	16,439,696	11,748,851	3,131,634	53,521,410	193,820	53,715,231	△3,200,154	50,515,076
セグメント利益	1,344,726	2,089,381	604,736	405,530	4,444,375	131,925	4,576,300	△557,561	4,018,739

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額7,966千円は、管理会計との為替調整額であります。

(2) セグメント利益の調整額△557,561千円には、のれん償却額△109,746千円、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△444,791千円、管理会計との為替調整額△61,759千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	化成品	機械資材	海外 現地法人	国内 子会社	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	21,656,551	20,019,361	14,395,972	3,074,401	59,146,286	115,757	59,262,044	32,921	59,294,966
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,527,184	283,596	1,187,110	20,503	4,018,394	23,295	4,041,689	△4,041,689	—
計	24,183,735	20,302,958	15,583,083	3,094,904	63,164,680	139,053	63,303,734	△4,008,768	59,294,966
セグメント利益	1,364,055	2,417,715	714,890	337,454	4,834,115	37,554	4,871,670	△601,377	4,270,293

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額32,921千円は、管理会計との為替調整額であります。

(2) セグメント利益の調整額△601,377千円には、のれん償却額△121,909千円、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費△493,426千円、管理会計との為替調整額△11,459千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。